



ひと、くらし、みらいのために

宮城労働局

Miyagi Labour Bureau

<http://miyagi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>

Press Release

平成30年3月1日(木)
 宮城労働局職業安定部職業安定課
 職業安定課長 齋藤 久仁浩
 地方労働市場情報官 柳澤 幸治
 電話 022(299)8061

「東北ブロック内雇用情勢報告(平成29年10~12月 四半期分)」を公表します

～ 一部に厳しさが見られるものの、引き続き改善している ～

宮城労働局では、東北ブロック各労働局(青森局・岩手局・宮城局・秋田局・山形局・福島局)における四半期の雇用動向を取りまとめ、平成30年2月6日に開催された第8回主要労働局長会議にて報告いたしました(※)。

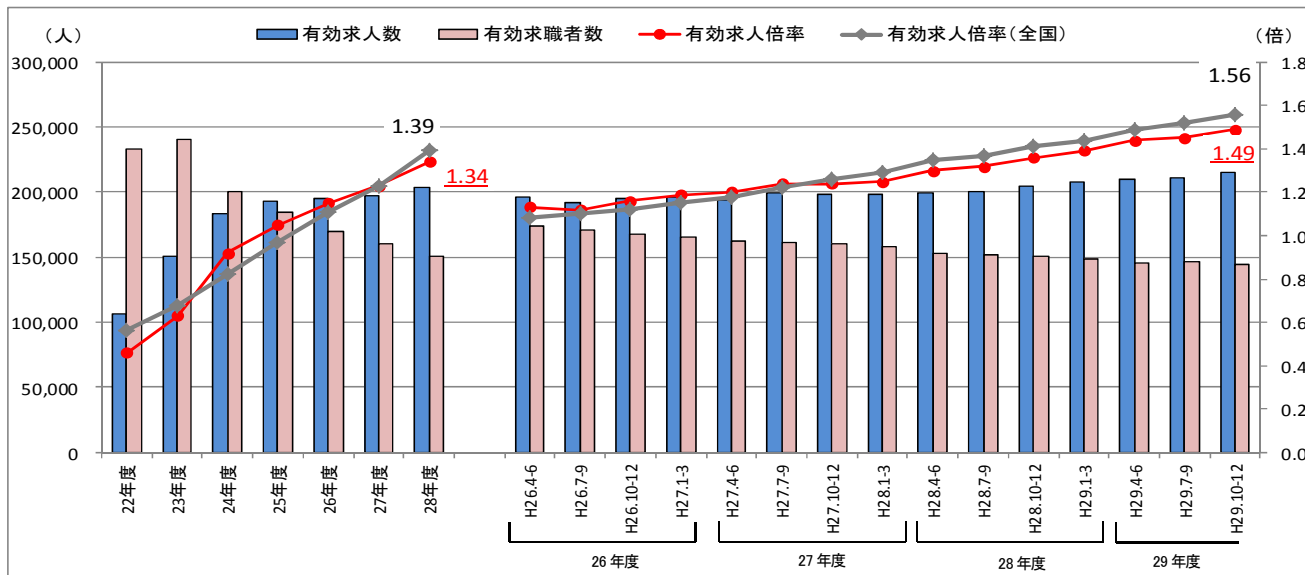
東北ブロックの10~12月期の有効求人倍率(季節調整値)は1.49倍(対前期差+0.04ポイント)となりました。なお、全国平均1.56倍を0.07ポイント下回っておりますが、就業地別でみると1.60倍(対前期差+0.06ポイント)となり、全国平均を0.04ポイント上回りました。

正社員有効求人倍率(原数値)は1.02倍(前年同期差+0.13ポイント)となりました。

新規求人数(季節調整値)は前期に比べ3.3%の増加、新規求職者数(同)は4.9%の減少となりました。

(※)全国各ブロックの雇用動向については、厚生労働省から「各ブロックの雇用動向(平成29年10~12月四半期分)」として2月16日に公表されております。

【有効求人倍率等の推移(受理地別)】



(注) 四半期別数値は季節調整値、年度別数値は原数値。

東北ブロックの雇用動向

【平成29年10－12月期の雇用情勢判断】

「雇用情勢は、一部に厳しさがみられるものの、引き続き改善している」 (判断維持)

	平成29年10－12月期						
	就業地別 有効求人倍率	受雇地別 有効求人倍率	新規求人数 増減率	新規求職者数 増減率	正社員 有効求人倍率	雇用保険 被保険者数 増減率	雇用保険 受給者実人数 増減率
	【季調値】 (対前期差)	【季調値】 (対前期差)	【季調値】 (対前期比)	【季調値】 (対前期比)	【原数値】 (対前年同期差)	【原数値】 (対前年同期比)	【原数値】 (対前年同期比)
	(単位:倍、ポイント)	(単位:倍、ポイント)	(単位:%)	(単位:%)	(単位:倍、ポイント)	(単位:%)	(単位:%)
東北ブロック	1.60 (0.06)	1.49 (0.04)	3.3	▲4.9	1.02 (0.13)	2.3	▲2.2
青森県	1.38 (0.05)	1.28 (0.03)	0.8	▲7.3	0.87 (0.16)	2.0	▲3.4
岩手県	1.55 (0.05)	1.43 (0.03)	1.4	▲4.2	0.90 (0.13)	1.8	▲1.8
宮城県	1.71 (0.06)	1.65 (0.05)	5.6	▲7.8	1.14 (0.14)	3.1	▲0.7
秋田県	1.51 (0.06)	1.42 (0.07)	2.8	▲3.4	0.99 (0.19)	1.6	▲1.4
山形県	1.79 (0.08)	1.63 (0.06)	7.3	1.5	1.07 (0.19)	1.9	▲15.3
福島県	1.60 (0.02)	1.45 (0.01)	1.4	▲4.6	1.05 (0.04)	2.2	4.4

※ 雇用保険被保険者数については、一般、高年齢、特例被保険者の合計値。雇用保険受給者実人員については、一般被保険者の数値である。

雇用動向におけるトピック等

<企業進出・雇用創出等の状況>

- 小売業では、複数のショッピングモール開設が予定されており、地元の活性化と雇用増加が見込まれる。また、車載向け・スマートフォン向け電子部品の需要増加等により、電子デバイス製造業等を中心に生産能力増強や新工場建設等の動きもみられ、雇用創出に期待が集まる。

<雇用調整の状況>

- 建設業、製造業、宿泊業等では、事業停止や工場閉鎖等の動きがみられる。引き続きこのような動きを注視するとともに、必要な支援に努めることとする

<主な産業別の状況>

- サービス業では、主に労働者派遣業からの求人が堅調。製造業で生産に持ち直しの動きがみられること等から、生産工程向けの派遣求人が高水準で推移。
- 医療、福祉では、高齢人口の増加を背景に医療や介護需要等の高まりから、介護施設・グループホーム等の新設・増設の動きが活発で、求人は引き続き高水準で推移しており、東北各地域で人手不足の状況が継続。
- 製造業では、スマートフォンや車載用電子部品、電子基板等の生産が堅調で、電子部品・デバイス、電気機械器具等を中心に求人が増加傾向。一方、水産加工業では、主要魚種の漁獲量減少、価格上昇等により、求人に慎重な動きもみられる。

① 働き方改革(長時間労働の抑制と有給休暇取得促進、賃金)

- 工事現場の施工管理のため、残業や休出は避けられない状況だが、年次有給休暇を取り易くしている。(その他の建設業、プラントの設計・施工管理、101~300人規模)
- 休日出勤後の代休取得を徹底して、総労働時間の短縮及び個人の余暇の充実を図っている。(機械器具製造業、プラスチックの金型設計、抽出成型、101~300人規模)
- 都市部と比べ、業務に必要なスキルを持った人材が少なく必要な労働者が集まらない。(電子機器用・通信機器用部品製造業、101~300人規模)
- 人手不足により、労働者一人当たりの業務量の増加~図面製作などの外注化や測量、設計・施工計画、施工・検査の全工程でICTを導入して時短、生産性向上を図っている。(総合建設業、101~300人規模)
- 負担の大きい店長の負担軽減のためナイトマネージャーを配置している。(スーパーマーケット 1001人以上)
- 人材確保、無駄の排除、生産方式の改善、残業時間の見える化による労働者の意識改善等に取り組んでいる。(その他の金属製品製造業、31~100人規模)

② 賃上げや賃金制度の整備に向けた取組状況について

- トヨタ方式の「カイゼン」に取り組み、時間配分の改善等について社員全員が意識共有するとともに、誰もが、どの工程も行えるように作業の平準化を図った。その結果、現在は、6年前に比べ130%の生産性の向上となり、利益の一部を賃上げに反映させた。(木材・木製品製造業、30人以下)
- 注文データの取得・分析、主力メニューの絞込み・宣伝強化、顧客アンケートの実施により、感覚的な販売管理からデータに基づく販売管理への移行を実施。その結果、生産性向上が図られ、売上高向上のための客単価・客数が増加した。(居酒屋経営、30人以下)

①どのような求職者が就職に結びつきやすいと感じているか

- 自分の今の状態、何ができるか、配慮してほしいことは何か等を事業所に必要に応じて伝えることができる方は就職に結びつきやすいと感じる。(治療中の方)
- コミュニケーションが苦手な方は少なくないが、問いかけた場合に自分なりに考えを述べられる方は就職に結びつきやすいと感じる。(ニート)
- 就職活動期間が長くなっても、あきらめず前向きに就職活動を続けられる方は就職に結びつきやすい。(ニート)
- 一人で抱え込まずに支援者(医療機関・自治体・ハローワーク等)のサポートを上手に活用されている方は就職に結びつくケースが多い。(治療中の方)

②求職者が重視している要素はどのようなものがあるか

- 病気や治療(通院等)について、職場の上司や同僚の継続的な理解を重視している方は多いと感じる。(治療中の方)
- 体力的に無理が生じないか、通院の継続と安定した収入が見込めるかなど、就労と治療を両立できるかどうかを重視される方は多い。(治療中の方)
- 就労経験の不足等から、職場での教育・研修制度が整っているかどうかを重視される傾向がみられる。(ニート)
- 最初からフルタイムというよりは、まずはパート勤務で会社に慣れ自信がついてきた後にフルタイムへ移行したいという希望を持つ方は少なくない。(ニート)

③最近の求職者の特徴的な動き

- 通院費等を考慮し急いで再就職を目指す方もみられるが、性急な就職活動により仕事と治療の両立に悩むケースも少なくなく、本人に寄り添った相談の重要性を感じる。(治療中の方)
- 保護者の意見を重視して、応募にあたって仕事内容や収入面等で背伸びしてしまう方も見受けられ、保護者への丁寧な支援も必要と感じる。(ニート)
- 自己肯定感が低い傾向がみられ、できることの強みがあってもそれが自分の強みだと思えない様子がみられ、本人に寄り添った支援の大切さを感じる。(ニート)
- 病気を受け止め治療も落ち着いてくると、気持ちが前向きになる方は多くみられる。また、仕事が決まると、就労意欲がでてきて表情が明るくなる方は多い。(治療中の方)